

富山県森づくりプラン（後期計画）の概要

○水と緑の森づくり税の延長と税額の一部引き上げ（H23. 9月議会可決）

- ・「水と緑の森づくり税」をH28年度まで5年間延長
- ・資本金等の額が50億円超の企業の税額を増額

○富山県森づくりプラン（後期計画）の策定（H23. 11月）

- ・里山林や混交林整備、森づくりの参加人数の新たな目標を設定
- ・森づくりの新たな課題を踏まえた取組みを追加

1 後期計画におけるとやまの森づくり施策の目標

○里山林や混交林の整備面積

単位：ha

区分	前期実績 H19-23	後期計画						全体 H19-28
		H24	H25	H26	H27	H28	H24~28	
里山林 整備 ＜新規地区数＞	1,296 ＜156＞	242 ＜35＞	354 ＜40＞	354 ＜40＞	354 ＜40＞	—	1,304 ＜155＞	2,600 ＜311＞
混交林 整備	693	160	170	170	160	147	807	1,500

- ・里山林: 前期5年間と同様に整備推進
- ・混交林: 過密林、風雪被害林650haに、新たに、竹林の侵入した人工林150haを整備対象に追加

○森づくりの年間参加延べ人数

単位：人

年度	H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H23見込み	H28計画
参加人数	6,920	10,033	10,999	10,262	10,000	12,000
サポート センター 登録団体	43団体2,903人 11企業	58団体3,416人 24企業	67団体3,633人 37企業	75団体3,933人 43企業	83団体3,205人 45企業	

- ・現行の参加人数10,000人の定着を図るとともに、潜在的な参加意欲のある新たな参加者2,000人の増加を目標に設定

2 とやまの森づくりの新たな施策

○実のなる木の植栽

奥山のカシノナガキクイムシの被害跡地では、このまま放置すると元のミズナラ等の森林には戻らないことから、ミズナラやブナなどの「実のなる木の植栽」を行います。

○優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及

H24年度の秋から出荷可能となる優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及・拡大を図るため、スギ花粉の飛散源となっているスギ人工林を対象に、優良無花粉スギの植栽を行います。

3 「水と緑の森づくり税」を財源とした事業

項目	事業名	事業内容	想定事業費(概数)	
			5年間 (H24-28)	年平均
多様な森づくりの推進	①里山再生整備事業	市町村が里山管理利用計画を策定し、計画に基づき里山林を整理。地域住民は草刈りなど実施。 6年目以降も活動を支援	7.2 億円	144 百万円
	②みどりの森再生事業	過密人工林や風雪被害林、人工林に侵入した竹林等を整理し広葉樹の侵入を促進（混交林へと誘導）。	6.5	130
	③実のなる木の植栽事業	カシノナガキクイムシの被害跡地にミズナラなど実のなる木を植栽。	0.6	12
	④優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業	優良無花粉スギ「立山 森の輝き」のモデル的な植栽に対し支援。(2年目以降の下刈りなど保育作業は森林所有者が実施)	0.5	10
小計			14.8	296
人づくり・森林資源の循環利用などの推進	⑤とやまの森づくりサポートセンター推進事業	機器の貸出や森づくり塾の開催など、森林ボランティア等を総合的・専門的に支援。 登録6年目以降も活動を支援	1.5	30
	⑥とやまの森づくり総合情報システム整備事業	とやまの森づくり総合情報システムを活用して、県民に森づくり情報を提供。	0.6	12
	⑦とやまの森づくり普及啓発推進事業	児童・生徒を始め、広く一般県民の森づくりに関する理解を広めるための「森の寺子屋」を開催。		
	⑧県産材利用促進事業	公共施設の木質化や木製品の設置の推進及び支援、県産材のモデル的な使用に対する支援など。	1.2	24
計画評価	⑨県民による提案型事業	県民等が企画し実践する森づくり活動に支援。	0.5	10
	小計		3.8	76
合計	⑩森づくり推進事業	森づくり会議の開催、事業の広報・PR	0.2	4
合計			18.8	376